

令和2年度
事業報告附属明細書

公益財団法人社会福祉振興・試験センター

令和2年度の新型コロナウイルス感染症対策について

1 国家試験事業

(1) 受験者への感染防止対策関係

- ・ 大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドラインを参考に「令和2年度社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士国家試験に係る新型コロナウイルス感染症に関する試験運営の対応方針について」を策定するとともに、受験者が安心して受験できるよう「国家試験にかかる新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について」をホームページに掲載し周知を行った。
- ・ 国家試験は、福祉施設・病院等で働く職員や福祉施設・病院等を実習先としている学生等が受験する試験であることを踏まえ、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減するため、次の感染防止対策を講じて試験を実施した。
 - i 身体的な距離の確保……おおむね1メートル程度の座席間隔の確保
 - ii 感染防止及び衛生管理……受験者にマスク着用を義務付け、非接触による検温の実施、手指消毒の徹底、試験室の換気の実施、机や椅子の拭取り消毒
 - iii 試験関係者の対応……検温の実施、マスク、フェイスシールドの着用、感染症の感染疑いがある受験者の対応に備え看護師の配置
 - iv 試験会場の入退場……密集を回避するため、開場時間を早め、分散退場させる
- ・ 受験者が安心して受験できる環境を整えるため、次の者は受験を認めず、帰宅させる取り扱いとした。〔受験できない者〕
 - i 新型コロナウイルス感染症に罹患し、退院または宿泊療養等の解除が認められない者
 - ii 保健所等から濃厚接触者に該当するとされ、自宅待機の解除が認められていない者
 - iii 海外から入国し、検疫所が指定した施設または自宅等での待機の解除が認められない者
 - iv 試験当日、発熱（37.5度以上）や体調不良があるなど新型コロナウイルス感染症の感染の疑いがある者
- ・ 介護福祉士試験(実技)では、筆記試験と同様の対応を行うとともに、受験者と接觸する機会がある試験関係者は、マスク、フェイスシールド、ゴム手袋を着用し対応した。
- ・ 受験手数料は欠席の理由を問わず返還しない取扱いとされているが、「受験できない者」に該当し、診断書等の書類で状況を確認できる者に対しては、特例として受験手数料を返還することとした。

返還者数……社会福祉士 68人、介護福祉士 158人、精神保健福祉士 5人、
社会福祉士、精神保健福祉士同時受験 3人

- ・ 他試験との主な対応の相違

	介護福祉士 社会福祉士 精神保健福祉士	大学入学共通テスト	医師 看護師 等医療系国家試験
会場での検温	サーモ または 非接触型体温計で検温	会場では対応なし 7日前から受験者の自主 検温	サーモで検温
会場での37.5°C以上の発熱者、体調不良者の対応	発熱者は受験不可 体調不良者は、待機場所 で対応後、受験不可 または別室受験を判断	診療室で対応後、 追試を案内 または 別室受験	迅速抗原検査を行い、 陽性者は受験不可、 陰性者は別室で受験
濃厚接触者の対応	受験不可	無症状かつP C R 検査が 陰性の場合、別室受験	無症状かつP C R 検査が 陰性の場合、別室受験
受験手数料の返金	受験できない者に該当し た場合は返金	明記なし	受験できない者に該当し た場合は返金
追試の実施	なし	あり	なし
座席間の距離の確保	概ね1 m以上	なるべく1 m以上	1 m以上
マスク着用義務化	あり	あり	あり
試験室等の換気	あり	あり	あり
別室の確保	あり	あり	あり
医師または 看護師の配置	看護師を配置	医師または 看護師を配置	オンライン診療を実施
試験前の机等の消毒	あり	あり	あり
実技試験での対応	あり	実技試験なし	実技試験なし

(注) 大学共通テスト及び医療系国家試験の対応については、それぞれの公表資料をもとに、当センターが作成。

(2) 試験委員会関係

- ・ 新型コロナ感染症の影響から、正・副委員長会議及び試験委員会（総会）は、書面開催とした。
- ・ 科目別打合せについては、座席間隔の確保や手指消毒の徹底、定期的な換気、空気清浄機の設置、飛沫防止用アクリル板の設置等により感染防止に努めた。
- ・ 試験委員が会議に出席できない場合も想定し、パスワード付きU S Bやレターパックの活用を図り、選定期議等を実施した。

(3) その他

- ・ 介護福祉士国家試験の受験申込受付期間について、例年9月上旬までの受付期間を9月末日までに延長した。
- ・ 介護福祉士国家試験の受験資格で必要となる実務者研修の修了について、例年12月末日までの修了を翌年3月末日までに延長した。

2 登録事業

- 主に郵送（一部オンライン）による登録申請（新規・変更）に基づき、登録証発行手続きを行う業務であることから、特別なコロナ感染症対策を行う必要はなかった。
- 就労状況調査開始時期（11月）について、厚生労働省と高齢者施設等への感染状況について情報連携しながら、延期の可否を判断した。

3 民間社会福祉施設職員合宿研修事業

- 感染拡大防止に配慮し、7月研修（高齢者介護）及び10月研修（障害者支援）ともに中止した。

4 民間社会福祉施設職員等海外研修・調査事業

- 令和2年4月30日付で中止した。

5 団体信用生命保険事業

- 独立行政法人福祉医療機構において、新型コロナウイルスの影響により事業の継続に支障がある事業者に対する経営資金の取扱いが行われ、団体信用生命保険への加入者も急増した。今回の融資は内定から実行までのスケジュールが通常融資と異なったため、事務手続きに変更が生じたが、福祉医療機構、幹事生命保険会社と連携をとり、事務処理を円滑に進めた。
- 特約料の払込み猶予期間を最長6か月間に延長した。

6 社会福祉施設従事者相互保険事業

- 災害保障特約の感染症の対象として新型コロナウイルス感染症を追加した。
- 掛金の払込みについて、申し出により最長6か月の延納を認める取扱いを実施した（センターHPに掲載）。

7 社会福祉施設従事者確定拠出年金事業

- 導入施設での職員向け説明会が感染拡大防止のため予定通り開催できること等により、導入時期を延期し柔軟に対応した。

8 社会福祉士・精神保健福祉士海外研修・調査事業

- 令和2年9月1日付で中止した。

9 介護福祉士海外研修・調査事業、社会福祉施設経営管理者海外研修・調査事業

- 令和2年4月30日付で中止した。

10 債務保証事業

- 福祉医療機構において既往貸付の取扱いの一部が改正（新型コロナウイルス感染症の影響により、最長3年6か月の返済猶予が可能）されたことに伴い、貸付条件変更契約が必要となった法人について対応した。

11 役職員への対応

国からの「新型コロナウイルス感染症の大規模な感染拡大防止に向けた職場における対応について」等による取り組みの要請等を踏まえ、当センターの「新型コロナウイルス感染症対策について」（役職員の基本的な対応）を策定（必要に応じ改定）し、実施している。

(1) 基本的な対策

- 咳エチケットの徹底（マスクの着用等）
- 手洗い・消毒等の徹底
- ソーシャルディスタンスの確保
- 健康状態の確認（出勤前の検温等を行い、出勤時に体調や検温の状況等について管理職に報告）
- 不要不急の外出の自粛及び週末の外出自粛
- 「接触確認アプリ」（COCOA）の推奨
- 感染リスクが高まる「5つの場面（飲食を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わり）」の回避
- 感染症対策の実施に対する強い実行意思と自己管理の徹底

(2) 勤務に係る対策

- 「職場における「4つ」の対策ポイント（換気の実施、密の禁止、備品共用避ける、体調管理）」の実施
(発熱等風邪に似た症状がある場合は、「年次有給休暇」を取得し、検査の結果「陽性」の場合は、遡って「特別有給休暇」の扱いとし、「陰性」と判明するまで間、特休とする。家族が罹患した場合も同様とする。)
- 学校等の臨時休業に伴う子の養育特別休暇の取得
- 介護特別休暇の取得（個別協議）
- 時差出勤の導入（3段階）
- 出勤調整（在宅勤務。2チーム） ※令和2年4月8日から6月19日まで実施
- 出社・帰宅時、飲食前の手洗いや手指のアルコール消毒の徹底

- 複数の者が触れることがある物品・機器等の消毒（出入口の訪問者等利用の受話器、ドアノブ等。机上のパソコン、電話、書類収納庫等身の回りの機器等は除菌シート等で拭く。）

(3) クラスター発生防止に係る対策

- 執務室等の換気の励行
- 密閉・密接・密集空間（3密）での会議は中止する。ただし、小規模会議等については3密とならないよう万全の措置を講じて、短縮化して実施する。
- 近距離での会話、発声を避ける。
- 喫煙室の利用は複数人での同時利用は極力避ける。
- 外部の者との会議（総務部関係、試験室関係等）は、中止又は延期若しくは縮小とし、実施する場合には万全の措置を講ずる。
- 業務外の不要不急の会食、懇親会等の外出は極力自粛する。

(4) その他

- 厚生労働省の「職場における感染症拡大防止チェックリスト」によりチェックを行い、衛生委員会へ報告
- 東京都の定める感染症対策の実施（「感染防止徹底宣言ステッカー」の取得、掲示）
- 厚生労働省の「職場における新型コロナウィルス感染症対策実施のための取組の5つのポイント」による確認の実施

— 以 上 —

